

● マイ・タイムライン(行動計画)を作成しよう

地震などとは異なり、台風などの風水害はある程度事前に予測ができる災害です。
右ページの災害時のタイムラインを見ながら、事前に行動計画(マイ・タイムライン)を作成しましょう！

該当する災害	☐ 洪水	☐ 土砂災害
想定浸水深	浸水継続時間	避難先
m		

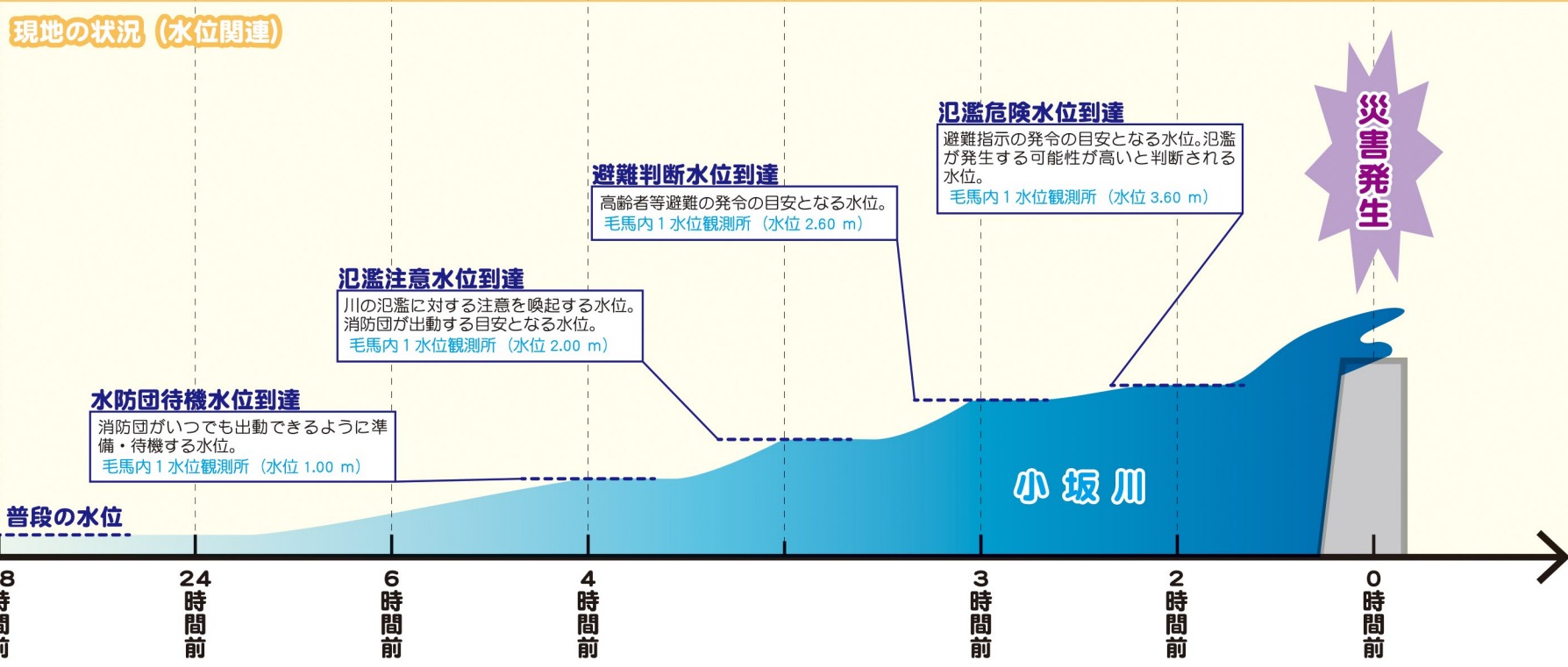
気象情報・避難情報	家族の名前	記載例			
発災 台風直撃 川があふれる・外にいと命の危険を感じる	警戒レベル5 緊急安全確保 災害が発生または切迫直ちに安全確保！	・住んでいる建物の2階以上に避難！ ※逃げ遅れた場合に命を守る行動を記載しましょう。			
当日 台風上陸・最接近 風雨が強く、川の水位がどんどん上がる	警戒レベル4 避難指示 災害のおそれの高い危険な場所から全員避難	・親戚の叔父宅に避難開始(ペットと同行避難)(マスク・消毒液持参)			
1日前 台風接近 風雨とともに徐々に強くなる	警戒レベル3 高齢者等避難 災害のおそれあり危険な場所から高齢者等は避難	・職場に台風対応の確認を取る ・浴槽に水を張る ・水のう用袋の準備			
2日前 台風接近 台風の強さが判明する	警戒レベル2相当 大雨・洪水注意報 気象状況悪化	・非常持出品の確認 ・鉢植えや物干し竿の室内退避 ・家の窓を養生する ・ペットのケージを準備			
～3日前 台風発生 台風の進路が判明する	警戒レベル1相当 早期注意情報 気象状況悪化のおそれ	・気象情報の確認 ・避難場所の確認			

名前	家族の携帯電話	家族の会社・学校

● 災害時のタイムライン

周囲の状況や、発表される情報を確認しながら避難に備えましょう。

発表される情報等 (早期注意情報 警戒レベルの可能性)	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報			大雨警戒報(土砂災害) 洪水警戒報 氾濫警戒情報	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	大雨特別警戒報(浸水害) 氾濫発生情報
住民の行動	警戒レベル1 災害への心構えを高める ◆テレビ等による気象動向の確認 ◆ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認 ◆防災グッズの準備 ◆災害への心構えを高めましょう	警戒レベル2 自らの避難行動の確認 ◆テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認 ◆ハザードマップ等による避難所・避難ルートの再確認 ◆自宅保全	◆テレビ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認 ◆広報車等による避難準備情報の受信	警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	警戒レベル4 危険な場所から全員避難 速やかに避難先へ避難を完了しましょう。 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況です。この段階までに避難を完了しましょう。	警戒レベル5 命の危険直ちに安全確保 すでに安全な避難が出来ず、命が危険な状況。 いまいる場所よりも安全な場所へ移動しましょう。
現地の状況(土砂災害関連)				◎近隣で前兆現象(湧き水、地下水の濁り、量の変化)が発見された時	◎近隣で前兆現象(斜面の崩壊、斜面のはらみ、擁壁・道路等にクラックが発生)が発見された時	◎近隣で土砂災害が発生した時 ◎近隣で土砂移動現象、前兆現象(山鳴り、流木の流出、斜面の亀裂等)が発見された時



● あなたの周辺をチェック

次の項目を確認したらチェックしましょう。
なお災害によって安全な避難所、避難場所や避難経路が異なる場合がありますので、注意が必要です。

チェック項目1(日常)

- ☐ 自宅の位置や避難所を確認しよう。
- ☐ 自宅付近の避難所・避難場所を確認しよう。
- ☐ 災害想定区域を避けて、避難経路を決めよう。
- ☐ 防災ハザードマップを目に付くところに置こう。
- ☐ 非常持ち出し品を準備しよう。
- ☐ わが家の防災メモを記入しよう。
- ☐ 洪水時にどのくらい浸水しますか？



チェック項目2(災害前)

- ☐ 安全確保は可能ですか？
- ☐ 避難所、避難場所はどこですか？
- ☐ 今いる場所を離れて立ち退き避難は可能ですか？
- ☐ 避難所、避難場所へ行く一番安全な経路はどこですか？
- ☐ 土砂災害の危険性がある箇所はありませんか？
- ☐ 夜間でも避難できる街灯等がありますか？
- ☐ 実際にチェックした箇所を歩いて安全確認しよう。
- ☐ 避難経路はどれくらいの浸水深になりますか？
- ☐ マンホールの蓋や危険な側溝はありませんか？
- ☐ 倒壊しそうな建物や塀はありませんか？

